

ダムの安全性点検等の概要

水力発電所等の水利使用規則によるダムの安全性に関わる報告データの改ざん等不適切な取扱いがあった、当社野反ダム、奈川渡ダム、水殿ダム、玉原ダム、上来沢川ダムについて、昨年度に引き続き、「ダム安全性等評価委員会（第三者委員会）」による安全性点検を実施した。

なお、葛野川ダムについては、平成20年度まで自主的に第三者委員会の対象として審議した結果、十分な安全性が確認されたことから、平成21年度以降は、国土交通省からの指示内容に従い、自己点検による安全性点検を実施している。

1. 対象ダム

- 野反ダム（切明発電所：20,000 kW）：群馬県吾妻郡中之条町
- 奈川渡ダム（安曇発電所：623,000 kW）：長野県松本市
- 水殿ダム（水殿発電所：245,000 kW）：長野県松本市
- 玉原ダム（玉原発電所：1,200,000 kW）：群馬県沼田市
- 上来沢川ダム（小武川第三発電所：2,200 kW）：山梨県韮崎市
- 葛野川ダム（葛野川発電所：800,000 kW）：山梨県大月市

2. 国土交通省からの指示内容（平成19年5月16日付命令書）

- 野反ダム、奈川渡ダム、水殿ダム、玉原ダム
今後10年間を自己点検計画の検証期間とし、第三者によるダムの安全性点検を行い、その結果を関係当局に報告すること。
* 初年度の点検・報告を平成19年度に実施したため、平成28年度まで継続。
- 上来沢川ダム
今後10年間を是正計画の検証期間とし、第三者によるダム管理の適正性点検を行い、その結果を関係当局に報告すること。
* 初年度の点検・報告を平成20年度に実施したため、平成29年度まで継続。
- 葛野川ダム
当面5年間は毎年度自己点検を行い、その結果を関係当局に報告すること。
* 初年度の点検・報告を平成19年度に実施したため、平成23年度まで継続。

3. 第三者委員会および自己点検による堤体の安全性等の点検結果

- 野反ダム、奈川渡ダム、水殿ダム、玉原ダム
第三者による堤体の安全性の点検について、第三者委員会に依頼し、堤体の巡視・点検結果および計測データ等の状況を確認した。
奈川渡・水殿ダムについては、現地において計測設備を含むダム全般の点検を実施するとともに、全てのダムについて書類による堤体の安全性点検を実施した。その結果、いずれのダムも安全性について問題がないことを確認した。
- 上来沢川ダム
同委員会のもと、ダムの安全管理に関する計測・巡視・点検の実施状況について点検を実施した。その結果、ダム管理の適正性について問題のないことを確認した。

・葛野川ダム

巡視・点検結果および計測データについて、社内的な管理体制のもと自己点検を行い、ダムの安全性およびダムの安全性を確保する体制に問題のないことを確認した。

以 上

<参考>

1. ダム安全性等評価委員会（「第三者委員会」）

・構成

委員長 大町 達夫 東京工業大学 名誉教授
 委員 水野 光章 元（財）水資源協会専務理事
 松本 徳久 政策研究大学院大学客員教授
 柳川 城二 （財）ダム技術センター副理事長

・開催実績

平成23年11月10日，11日（奈川渡・水殿ダム現地点検、書類点検）
 〃 12月1日（玉原ダム・野反ダム・上来沢川ダム書類点検）
 平成24年1月18日（最終評価委員会） 計3回

2. 各ダムの概要

ダム名	<small>のぞり</small> 野反ダム	<small>ながわど</small> 奈川渡ダム	<small>みどの</small> 水殿ダム
所在地	群馬県吾妻郡中之条町	長野県松本市	長野県松本市
発電所名	切明発電所	安曇発電所	水殿ダム
型 式	コンクリート表面遮水 壁型ロックフィルダム	コンクリートアーチ式 ダム	コンクリートアーチ式 ダム
高さ（m）	44.000	155.000	95.500
堤頂長（m）	152.500	355.514	343.340
竣工年月	昭和31年6月	昭和44年6月	昭和45年6月

ダム名	<small>たんばら</small> 玉原ダム	<small>かみくりざわがわ</small> 上来沢川ダム	<small>かずのがわ</small> 葛野川ダム
所在地	群馬県沼田市	山梨県韮崎市	山梨県大月市
発電所名	玉原発電所	小武川第三発電所	葛野川発電所
型 式	中央土質遮水壁型 ロックフィルダム	コンクリート重力式ダ ム(表面張石コンクリ ート造り)	コンクリート重力式ダ ム
高さ（m）	116.000	19.020	105.200
堤頂長（m）	570.100	49.580	263.500
竣工年月	昭和57年12月	昭和2年12月	平成11年12月

以 上